

ふれあい広場 VARIETY INFORMATION

あなたの声をお寄せください
 まちの話題、疑問、質問、提言、意見のほか、会員募集やリサイクル情報（譲りたい、譲ってほしい）、イラストなど何でも結構です。広報紙上でできるだけ紹介します。

まちづくり課 企画調整係
 ☎ (32) 0104

12月の納期
 ◆固定資産税 第4期
 ◆県町民税 第4期
12月27日(月)まで
 忘れずに納税しましょう。

タバコは町内で買しましょう。
 9月のタバコ税は 2,469,479円
 12月の舟形若あゆ温泉の
 休館日は、8日(水)

ふながた家族新聞コンクール

11月10日、中央公民館で第17回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が行われました。これは、家族の絆を深め、考える力と表現力を身に付けてもらおうと山形新聞社と山形新聞舟形専売所（所長 鈴木高規さん）、町教育委員会が毎年開催しているもので、25名の児童が表彰されました。

小学校4年の部	小学校5年の部	小学校6年の部
優秀賞 石山 翔環	優秀賞 加藤 陽翔	優秀賞 沼澤 大翔
齋藤 七唯	沼澤 直太	木島 幸紀
特別賞 菊地 慶	特別賞 加藤 偉生	特別賞 奥山 莉来
野尻 煌月	八畝 琥雅	津藤 倫仁
阿部 さい	加藤 璃子	沼澤 利珠
伊藤 陽葵	後藤 朱羽	岸 穂澄
丹 美織	齊藤 梨央	斉藤 希歩
中山 愛麻	星川 優希	森 心愛
		結城 ふみ子



新刊書の紹介

(舟形町中央公民館図書室)



パン屋のイーストン
 伊ーストンは森のパン屋さん。粉と塩ときれいな水に、とっておきの魔法をかけて、おいしいパンをつくりまわす。今日のお客さんの注文は。

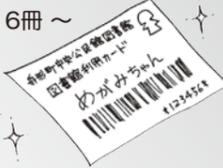


グリーンピースの秘密
 冬に友人と入った温泉、春に青空で買った白いアスパラ、四季折々の暮らしを楽しむ著者のベルリン暮らしを綴ったエッセイ。海外の生活を味わえる一冊です。

図書室にない本も 借りることができます

お探しの本がない場合、中央公民館と
 おして山形県立図書館の資料を借り
 ることができます。詳しくは中央公民館に
 ご相談ください。

～ 町中央公民館図書館
 所蔵数 9,216冊 ～



いただきます🙌 Vol.7 地域の恵み

～ 食育・地産地消についての情報をお届けします～

災害時に健全な食生活が実践できるよう、日頃から適切な備蓄や、限られた食品や資源をもとに食事を作るなど、非常時にも対応できる力を身につけることが大切です。

家庭備蓄のひとつとして、漬物があります。漬物は災害時には食べ慣れた保存食として活躍します。舟形町の郷土料理ではおみ漬けや青菜漬けなどがあります。郷土料理に触れながら、災害に備えましょう。青菜漬けの作り方を紹介します。

青菜漬けの作り方

【材料】
 ・青菜 1kg
 ・塩 150g
 ・呼び水 水カップ5杯
 ・塩 少々
 ・重石 2〜3kg
 ○本漬け用
 ・ザラメ 130g
 ・するめ(粉末)少々
 ・とうがらし 少々
 ・しその実 少々
 ・昆布 少々
 ・焼酎または酒 少々
 ・醤油 大さじ5杯

【作り方】
 ①青菜はひどい汚れを落とす程度に軽く洗い、分量の塩で漬ける。
 ②水があがっていくので呼び水をして押し蓋をし重石をのせて一週間漬ける。
 ③本漬け：塩漬けした青菜をきれいに洗い水気を切る。
 ④容器に③をならべザラメ、するめ、とうがらし(ちぎる)、しその実、刻んだ昆布を振り入れる。この行程を繰り返す。最後に酒、醤油をかける。
 ⑤押し蓋をし漬け汁が上がる程度の重石をおき、容器をナイロンで包んで密閉し寒いところに置く。
 ⑥二週間くらいで食べられる。

来月の食育・地産地消デーは12月18日(土)
 (毎月第3土曜日は食育・地産地消の日です)

7 災害にそなえよう

《ペットボトルと缶詰》

“いつ起こるかもしれない災害を意識し、非常時のための食料品を備蓄しておきましょう”

※このピクトグラムは、食育に関する取り組みの中から代表的なものを分かりやすく抽象化したものです。

▼問い合わせ/食育・地産地消推進委員会事務局 ☎ (32) 0947

舟形文芸ひろば

短歌

秋野草摘み部屋に持ち来て一瞬放心す
 やがて吾が身を悲哀が襲ふ
 木瓜の花の会 佐藤和夫(西堀)

千風会【霜月】

コロナ禍や現金支給と選挙カー
 各党国民の真の意図を知っているか
 千風会 森 勝広(舟形第四)
 霜降りて稲穂のこうべおじぎする
 豊作のよろこび伝へるるかに
 千風会 島山ひろみ(木友)

草もみじ寒露にうたれるとほしき
 いぼむしり横たへ死すなほわぶし
 千風会 小野光子(真木野)

※いぼむしり：カマキリ、秋の季語
 星のつたひに雁あらわれて
 虫も鳴きやむ菜園の秋仕舞
 千風会 景山晃佑(仙台市)

※星のつたひ：星座の位置、ならび、種類
 山は炎ゆコスモスの海にたたくみ
 呼々昔しのぶ木の葉しぐれにうたれつ
 千風会 沼澤千鶴子(鶴陽(舟形第四))

俳句

車窓より千し柿のれんの眺めかな
 木瓜の花の会 佐藤孝子(舟形第二)
 紫の溜め息ついてあけび熟れ
 長沢俳句会 大場小夜子(内山)
 秋の浜子はみなぬれてあきもせず
 長沢俳句会 佐藤昭子(長沢第一)
 秋あかね日暮れの風の厨窓
 長沢俳句会 柏木伸子(長沢第三)
 永遠に片恋なりや十三夜
 長沢俳句会 高橋ふき子(長沢第三)
 暗闇に寂しく声の白鳥一羽
 長沢俳句会 真見七生(舟形第四)
 テレビでは駅のホームに吊るし柿
 永沢幸男(光生園)
 句作りは言葉の木の实選ぶごと
 興 珠子(野)
 優厳な曾ばば偲ぶや桔梗蕾
 ローマ俳句クラブ 井上淳子(ローマ市)
 干柿は日本の秋の味覚です
 ローマ俳句クラブ 井上笑(ローマ市)
 脇起し三つ物連句
 別るゝや夢一筋の天の川 夏目漱石
 菊の枕に夜をいつくしむ 玲虹
 明日ははや伊予の城下を立つ日にて 虹
 北陽社 井上玲虹(野)
 付合句
 車窓より広がりに続く芒の穂 大類久子(新庄市)
 大地はひそと鳴の声行く 井上玲虹(野)